

云フモ只比較的ノ言語ノミ要スルニ直チニ消滅スルコトノ反對ヲ指スモノニ外ナラス水ヲ以テ書シ砂上ニ書シタルモノ、如キ永續的ト云フコトヲ得ス然レトモ白墨ヲ以テ記載スルカ如キ時ニ永續的タルコトアル可シ

(註) (Frank II, za 307) カ小石ナ羅列シ小枝ヲ連ヌルニ依リテ爲シタル意思表示ヲ文書ニアラスト爲シタルモ此理由ニ外ナラス大場氏三三一頁カ此說ニ對シ斯ノ如キ意思表示モ存續シ且ツ了解シ得キトキハ云々ト攻撃シタルハ當ラズ大場氏三四八頁ハ本文ト反對シテ白墨ヲ以テスルトキハ常ニ文書ナリトシ又 Frank ノ說ニ對シ右ニ記載スルカ如キ駁撃ヲ加フ)

(五) 文書ハ文字又ハ之ニ代ル可キ符號ヲ以テスル意思表示ナリ

文書ニハ文字又ハ之ニ代ル可キ符號ノ記載ナカル可カラズ文字ニ代ル可キ符號トハ電信ノ符號盲者ノ使用スル符號又ハ速記文書ノ如キヲ云フ要スルニ文字ニアラサルモ文字ニ代リ思想ヲ表白シ得キ符號ヲ指スモノナリ學者中文書ハ常ニ文字ノ記載アルコト(Schriftform)ヲ必要トスト主張スル者アレトモ(例之Binding 165. R. Merkel 228)我判例モ亦電信ノ符號ヲ以テ記載シタル書面ヲ文書ニアラスト判

示シタルコトアリ「明治二十五年四卷一五頁」文字ニ代ル可キ符號ノ思想ヲ表白スル點ニ於テ毫モ文字其者ト異ナル所ナキヲ以テ文字ニ代ル可キ符號ノ記載モ亦文字ノ記載ト同一ニ解釋スルヲ至當トス故ニ我判例亦直チニ從前ノ判例ヲ改メタリ(三十三年十卷八頁)證據記號(Beweiszeichen)ト文字ニ代ル可キ符號トハ其形ニ於テ頗ル相似タルモノアリ然レトモ證據記號ハ當該關係者ニ於テノミ之ヲ了解シ得キモノナリト雖モ文字ニ代ル可キ符號ハ客觀的ニ之ヲ了解シ得キモノナリ故ニ證據記號ハ文書ニ非ス其事ノ然ルハ我刑法カ文書偽造罪ノ外ニ印章偽造罪ヲ規定シ文書ト印章トノ間ニ截然タル區別ヲ設ケタルニ依リ明白ナル所ナリ

(六) 文書ハ其レ自體事實證明ノ力ヲ有スルモノナリ

刑法上ノ文書ハ證明ノ用ニ供スル目的ヲ以テ作製セラル、モノタルコト(Beweisbestimmung)ヲ必要トスルカ此點ニ付テハ主觀客觀ノ二說アリ主觀ハ之ヲ必要トス(例之 Berner, Binding, Frank, Hülschner, Meyer, Olshausen, v. Liszt)客觀說ハ之ヲ必要トセス(Beling, Morel, Mommsen, Weismann, v. Bari, v. Kries)惟フニ證明ノ用ニ供スル目的ヲ以テ作製セラル、モノト雖モ實際ニ於テハ毫モ證明ノ用ニ供スルニ足ラザレモ

ノアルト共ニ(例ヘハ形式上ノ缺點アル貸借證書)當初證明ノ用ニ供スル目的ヲ以テ作製セラレサルモノト雖モ其後ノ成行ニ於テ證明ノ用ニ供スルニ足ルモノトナルコトアリ(例ヘハ物品註文ノ手紙單純ノ信書而シテ後ノ種類ニ屬スルモノト雖モ之ヲ刑法上ノ文書ヨリ除外ス可キ理由ハ毫モ存在セス故ニ一般ニ云ヘハ刑法上ノ文書ハ凡テ證明ノ用ニ供スルニ足ルモノ即チ證明ノ可能性ヲ有スルコトヲ必要トスルモ證明ノ用ニ供スル目的ヲ以テ作製セラレハコトハ之ヲ必要トセサルモノト解スルヲ至當トス

〔註〕岡田氏小嶋氏牧野氏客觀說

本文記載ノ點ニ付テハ我國ニモ反對說ナシ大場氏(三四〇)ハ江木氏一三二頁ヲ異說トスレトモ實質ニ於テ然ラサルカ如シ

然レトモ文書ハ凡テ證明ノ用ニ供スルニ足ルコト即チ證明ノ可能性ハ之ヲ有セサル可カラス加之文書ハ凡テ其レ自體ニ依リテ或事實ヲ證明スル力ヲ有スルコトヲ必要トシ他ノ證據ト相待テ事實ヲ證明シ得ルカ如キモノハ之ヲ刑法上ノ文書ト爲スコトヲ得ス名刺門札下足札番號片ノ如キ其例ナリ〔註〕是レ刑法上ノ文書ト刑事訴訟法上ノ文書即チ證書又ハ證憑書類ト相異ル所ナリ蓋シ刑事訴訟法

上ノ文書ハ其レ自體或事實ヲ證明スル力ヲ有スルコトヲ必要トセス他ノ證據ト相待テ事實ヲ證明シ得ルモノモ亦刑事訴訟法上ノ文書タレハナリ然レトモ之レカ爲メ一般ニ通用スル略式ノ意思表示モ亦刑法上ノ文書タルコトヲ得サルモノト誤解ス可カラス此ノ如キ意思表示ハ只一般ニ文字又ハ之ニ代ル可キ符號ヲ節略スルニ止マリ其レ自體事實證明ノ力ヲ有スル點ニ於テハ毫モ他ノ文書ト異ナル所ナキナリ例ヘハ乗車券乗船券入場券等ノ如シ此點ヨリ見レハ記名株券ノ賣買ト同時ニ交付スル白紙委任狀手荷物ト引換ニ交付スル鐵道院ノ合札(チエキ)樹木ノ拂下ヲ證スル爲メ當該官吏ニ依リテ記載セラレタル番號及ヒ小荷物ノ返送ニ付キ鐵道院ノ使用スル驛名札ノ如キ凡テ刑法上ノ文書タルヲ得可ク(大場氏三四三頁)印紙モ亦之ト同一ナリト雖モ印紙ノ偽造ニ付テハ特別法ノ規定アリ(明治四十二年法律第三九號印紙犯罪處罰法)

〔註〕大場氏三四三頁以下ハ本文ニ反對スルモ其レ自體事實ヲ證明スル力ヲ有セサルモノハ又凡テ其レ自體意思表示ヲ包含セサルモノナルヲ知ラハ其誤ナルコト明白ナル可シ(同說 Frank III. 3 zu § 297. 岡田氏泉二氏小嶋氏牧野氏)境界ノ標石ハ其レ自體事實證明ノ力ヲ有スト解スルカ正當ナル可シ(Liszt. Reichsgericht. Frank 泉二氏)

第二 圖畫

圖畫モ亦或物件ニ永續的ニ附著セラレタル點ニ於テハ文書ト相同シク又時ニ意思表示ヲ内容トシ其内容ニ包含セラレタル思想ニ依リテ或事實ヲ證明シ得ルコトモ是レナキニ非ラス故ニ圖畫モ亦刑法ニ依リテ之ヲ保護スル必要アル可ク例之檢證調書ニ添附スル繪圖理由書一四一大場氏三三二頁モ其一例學者中之ヲ文書中ニ包含セシムル者モ是レナキニ非ス現ニ我大審院ノ如キモ舊刑法ノ解釋トシテ村役場備付ノ村繪圖ヲ官文書ト判示シタルコトアリ(明治三十二年四卷四號三十六年九八五頁)然レトモ我國古來ノ用語ニ於テモ圖畫ト文書トノ間ニハ截然タル區別アルノミナラス圖畫ニハ文書ニ於ケルカ如キ文字又ハ之ニ代ル可キ符號ノ記載モ之レナキモノナルヲ以テ圖畫ハ文書ト區別シテ觀察スルヲ可トス故ニ刑法ハ明カニ圖畫ヲ文書ト區別シ只其法律上ノ取扱ニ於テ之ヲ文書ト同一ニ置キタリ(第一五五條以下)然レトモ圖畫モ亦文書ト同シク法律上ノ價值ヲ有スル意思表示ヲ内容トシ其内容ニ依リテ或事實ヲ證明シ得ル場合ニ於テノミ犯罪ノ物體タルコトヲ得ルモノト解セサル可カラス單純ノ美術工藝品ノ如キハ犯罪

ノ物體タルコトヲ得サルモノナリ(人體圖地圖ノ如キ其例ナリ)

第三 文書ノ種類

文書ニハ官文書私文書ノ別アリ

(一) 官文書(öffentliche Urkunden)

官文書ハ又大權文書ト狹義ノ官文書トノ二種ニ分タル

い 大權文書

大權文書トハ御璽國璽若シクハ御名ヲ使用シテ作製スル文書ヲ云フ(第一五四條)御璽トハ天皇ノ印章ヲ云ヒ國璽トハ帝國ノ印章ヲ云ヒ御名トハ天皇ノ署名ヲ云フ大權文書中最重ナルモノハ詔書ナリ詔書トハ皇室ノ大事ヲ宣誥シ及大權ノ施行ニ關スル勅旨ヲ宣誥スル文書ヲ云フ(明治四十年一月三十一日公式令一條)其他勅書(第二條)上諭(三條)乃至九條)圖書其他外交上ノ親書條約批准書全權委任狀外國派遣官吏委任狀名譽領事委任狀及ヒ外國領事認可狀(第一〇條)第一三條)勅任以上ノ官記(第一四條)親任免官ノ辭令書(第一五條)爵記(第一六條)四位以上ノ位記(第一七條)勳記(第一九條)等モ亦大權文書中ニ包含セラル

ろ 狹義ノ官文書

狹義ノ官文書トハ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書ナリ(第一五五條)公務所ノ作ル可キ文書トハ公務所ノ名義ヲ以テ作製スル文書ヲ云ヒ公務員ノ作ル可キ文書トハ公務員ノ名義ヲ以テ作製スル文書ヲ云フ實質ニ於テハ共ニ公務員ノ作ル可キ文書ナリ故ニ一私人ノ作製シタル文書ハ如何ナル場合ト雖モ官文書ト云フコトヲ得ス舊刑法時代ニハ官文書ノ意義如何ニ付キ二個ノ相反スル學說アリ第一說ハ文書ノ名義人カ官ケルトキノミ官文書ナリトシ第二說ハ其外官ノ保管スル文書モ亦官文書ナリトシ判例ハ第二說ニ賛同シ一私人ノ作製シタル文書ト雖モ官ニ保管スル限リハ凡テ官文書ナリト解シ來リシカ(明治三十六年一一三〇三十七年二三五二、三十八年六九三)現行刑法ニ於テハ公務所ニ保管スルモノト雖モ公務所又ハ公務員ノ作ル可カラサル文書ハ凡テ官文書ニ非サルモノト解スルヲ至當トス(泉二氏牧野氏)然レトモ一私人ノ作製ニ係ル文書ト雖モ公務所又ハ公務員ノ證明ヲ經タル場合等其他一私人ノ作成部分ト公務所又ハ公務員ノ作成部分トカ形式上相合シテ一體ヲ成ス場合ニハ相共ニ一個ノ官文書ヲ構成シ得可キハ

勿論ナリ(明治三十五年十二月十一日同年五月十九日)又公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書ナル以上ハ一私人ノ依頼ニ應シテ作成スルモノナルト否トモ之ヲ問ハサルナリ此理由ニヨリ電報送達紙ノ如キモ亦官文書タルコトヲ得(明治三十五年二卷一二三)公務所又ハ公務員ノ作ル文書ナルモ其公務所又ハ公務員カ職務上作成スヘキ文書ニアラサレハ官文書ニ非サルコト勿論ナリ故ニ公務員カ一私人トシテ作成シタル文書ハ官文書ニアラス加之公務所又ハ公務員ニ其ノ文書ヲ作成ス可キ權限ヲ有スルコトヲ必要トス

〔註〕大場氏四〇九頁ハ反對ナルモ成法上ノ根據ナシ形式上效力アルモノヲ作リテコソ偽造トナレ形式上無效ナルモノヲ作ルモ何等ノ實害ナシ

司法警察官ノ拘留狀檢事又ハ行政官廳ノ判決ノ如キハ官文書ニアラス公務所又ハ公務員ノ職務上作成スル文書ハ屢一定ノ形式ヲ必要トスルコトアリ斯ノ如キ場合ニ於テハ其形式ヲ缺キタル文書モ亦之ヲ官文書ト云フコトヲ得ス例ヘハ判事ノ署名捺印ヲ備ヘサル令狀判決等ノ如シ
以上ノ條件ヲ具備スル以上ハ

- 一 公務所又ハ公務員自ラ之ヲ作成スルト否トハ之ヲ問ハス執達吏代理ノ作成シタル文書ノ如キモ亦官文書ナリ(明治三十五年十二月二十二日)
- 二 其公務所又ハ公務員ノ現存中ナルト否トモ之ヲ問ハス舊藩家老職ノ達書ノ如キモ亦官文書ナリ(三十二年二卷一〇四)
- 三 外部ニ對スル交通文書ナルト否トモ之ヲ問ハス官署内部ノ命令訓令等モ亦官文書ナリ
- 四 公法上ノ關係ニ於テ作成セラルルト否トモ之ヲ問ハス私法上ノ關係ニ於テ作成シタル會計官吏ノ契約締結書ノ如キモ亦官文書ナリ(明治三十六年一二一、三十八年二一七)此點ヨリ云ヘハ公債證書官府ノ證券其他ノ有價證券モ亦官文書ト云フコトヲ得然レトモ我現行刑法ハ此等ノ文書ニ就キ特別ノ規定ヲ設ケタリ(第一、六二條以下)

(二) 私文書(Privaturkunde)

私文書トハ官文書ニ非サル凡テノ文書ヲ云フ私文書ニ權利義務ニ關スル文書ト事實證明ニ關スル文書トノ別アリ(第一五九條)

5 權利義務ニ關スル文書(die dispositiven Urkunden)

權利義務ニ關スル文書トハ法律上重要ナル意思ノ表示ヲ記載シタル文書ヲ云フ換言スレハ權利義務ノ發生變更消滅等一切ノ法律上ノ效果ヲ發生ス可キ意思表示ヲ包含スル文書ナリ舊刑法ニ例示シタル賣買貸借贈遺交換等ノ證書ハ其最重ナルモノトス(舊刑二一〇條)

權利義務ハ財産法上ノ權利義務ニ限ラルルノ理由ナキヲ以テ親族相續法上ノ(Zeugniskunden)權利義務ニ關スル文書モ亦權利義務ニ關スル文書中ニ包含セシムルコトヲ得婚姻養子縁組ノ届出親族會ノ同意書遺言書ノ如キ其例ナリ

ろ 事實證明ニ關スル文書(Leweiskunden)

事實證明ニ關スル文書トハ法律上重要ナル事實ヲ證明スル文書ヲ云フ換言スレハ法律上重要ナル意思表示ヲ記載セサルモ間接ニ其意思表示ヲ證明シ得ル文書ナリ事實證明ニ關スル文書ニ二種アリ一ハ事實ヲ報告スル爲メニ作成セラルル文書ニシテ他ハ然ラサル文書ナリ會社ノ議事録決議録一私人ノ證明書報告書始末書届書醫師ノ健康證書等ノ如キ凡テ前者ノ例ニシテ權利義務ニ關係セサル

信書郵便端書ノ如キ凡テ後者ノ例ナリ何レモ事實證明ニ關スル文書タル點ニ於テ相同シ

舊刑法ハ私文書ヲ分チテ權利義務ニ關スル證書ト其餘ノ私書トノ二トナシ此ノ區別ニ從ヒ刑罰モ亦之ヲ區別シタリ(舊刑法第二一〇條)現行刑法ニ所謂權利義務ニ關スル文書ハ舊刑法ニ所謂權利義務ニ關スル證書ニ當リ現行刑法ニ所謂事實證明ニ關スル文書ハ舊刑法ニ所謂其餘ノ私書ニ當ル然レトモ現行刑法ハ權利義務ニ關スル文書ト事實證明ニ關スル文書トノ間ニ刑罰ノ區別ヲ設ケス

第三節 行爲

文書偽造罪ノ行爲ハ (1)偽造 (2)變造 (3)虛偽ノ記載 (4)及行使ノ四ナリ

第一 偽造

偽造トハ權限ヲ有セサル者カ他人名義ノ不真正ナル文書ヲ新ニ作出スルコトヲ云フ他人名義ノ文書ヲ作出スルニ非サレハ偽造ニ非ス換言スレハ作成名義ヲ僞ル場合即チ所謂有形偽造ノ場合ニ非サレハ文書ノ偽造ニ非ラス故ニ名義人自

ラ不實ノ記載ヲ爲ス場合即チ所謂無形偽造又ハ内容ノ偽造ノ場合ニハ特別ナル明文ナキ限リ文書偽造罪ヲ構成セス加之文書偽造ハ只作成名義ノ偽造アルヲ以テ十分トシ敢テ内容ノ偽造アルコトヲ要セス故ニ作成名義ヲ僞ハリタル以上ハ假令其内容カ眞實ト符合スル場合ト雖モ尙文書偽造罪ヲ構成ス借用證書ヲ紛失シタル債權者カ濫リニ同一内容ヲ有スル債務者名義ノ借用證書ヲ作出スル場合ノ如キ其例ナリ(通説)反對牧野氏然レトモ數個ノ作成名義ヲ使用スル場合ニハ内一個ノ偽造アルヲ以テ十分トシ敢テ其全部ヲ偽造スルコトヲ要セス故ニ例ヘハ自己ノ名義ヲ以テ作成シタル借用證書ニ擅ニ保證人トシテ他ノ名義ヲ使用スル如キ場合ニ於テモ亦文書偽造ノ行爲アリト解スルコトヲ得

不真正ナル文書ヲ作成スルニ非サレハ偽造ニ非ス文書ハ作成名義人カ其作成ヲナス意思ヲ有セサリシ場合ニ於テ常ニ之ヲ不真正ナリト云フコトヲ得故ニ作成名義人カ明示又ハ默示ニ其ノ文書ノ作成ヲ承諾シタル場合ニハ文書偽造ノ行爲アリト爲スコトヲ得ス而シテ其承諾カ作成名義人ノ任意ニ出テタルト詐欺脅迫其他ノ原因ニ基キタルトハ之ヲ問ハサルナリ然レトモ其承諾ハ必ス文書作成

ノ當時現存シタルコトヲ要ス故ニ作成名義人ノ事後承諾ヲ豫期シテ作成シタル場合ニハ文書偽造ノ行爲アリト論定セサル可カラス(四十三年二月廿一日唯暗黙ノ承諾アルモノト誤信シタル場合ニ於テ文書偽造ノ故意ヲ阻却シ得ルノミ)

虚無ノ名義ヲ使用シ又既ニ死亡廢廳シタル名義ヲ使用シタル場合ニ於テモ亦文書偽造ノ行爲アリト解シ得可キカ泰西ノ通説ハ之ヲ積極ニ決シ(V. Liszt, Frank)本邦學者中又文書偽造罪ハ文書ノ取引上ノ信用ヲ害スルモノナルカ故ニ此犯罪ヲ構成スル偽造ノ行爲ハ唯名義人ヲ實在人ナリト信セシムル程度ノモノナルコトヲ必要トスルニ止マリ敢テ實在人ヲ名義人トナスコトヲ必要トセスト論スルモノアレトモ(岡田氏小疇氏牧野氏實在セサル名義ヲ使用スルモ毫モ法律ノ事項ニ影響ヲ及ホササルノミナラス官文書ニ付キ公務所又ハ公務員ノ云云)ト規定シ又私文書ニ付キ他人ノ云云)ト規定シタル我刑法カ明カニ實在ノ公務所公務員又ハ他人アルコトヲ前提トスルヲ以テ少クトモ我刑法ノ解釋トシテハ實在セサル名義ヲ使用スルモ文書偽造ノ行爲ナキモノト解スルヲ至當トス(泉二氏大場氏勝本氏江木氏判例)然レトモ之レカ爲メ生存又ハ在廳ノ日時ヲ用キタル行爲モ亦文

書偽造ノ行爲ニ非スト誤解ス可カラス死亡又ハ廢廳シタル者ト雖モ其生存又ハ在廳ノ時ニハ完全ナル人格ヲ有シタルモノナルヲ以テ日時ヲ其當時迄遡ラシテ作成シタル行爲ハ實在セサル名義ヲ用キタルニ非ラスシテ寧ろ實在ノ名義ヲ使用シタルモノト解セサル可カラス

實在ノ名義ヲ使用スルニ非サレハ文書偽造ノ行爲アリタルモノト解スルコトヲ得ス然レトモ數個ノ作成名義ヲ使用スル場合ニハ内一個ノ實在名義アルヲ以テ十分トシ敢テ全部ノ實在名義アルコトヲ要セス故ニ例ヘハ代理資格ヲ僞リテ文書ヲ作成スル場合ノ如キ本人若シクハ代理人ノ一ニ於テ實在名義アルヲ以テ十分トシ敢テ其雙方カ實在名義タルヲ要セス又實在ノ名義ヲ使用シタル限りハ其名義ニ於テ多少眞實ト符合セサルモノアルモ毫モ文書偽造ノ成立ヲ妨タルモノニ非ラス而シテ其符合セサルコトカ有意ナルト無意ナルトハ之ヲ問ハス故ラニ類似ノ名義ヲ用キタル場合ハ勿論誤テ之ヲ用キタル場合ニ於テモ亦文書偽造ノ行爲アリト解スルコトヲ得

自己ノ名義ヲ以テスルモ他人ノ爲メ一定ノ行爲ヲ爲シ得ル權限ヲ有スルモノ

ノ如ク詐リ文書ヲ作成シタル行爲ハ文書偽造ノ行爲ト解シ得可キカ單ニ其權限ヲ有スト詐稱スルニ止マル場合ニハ文書偽造ノ行爲アリト解スルヲ得サルコト勿論ナリ問題ト爲ルハ其權限アリト詐稱シ且ツ之ヲ文書ニ表示スル場合ナルカ此場合ニ付キ文書偽造ノ行爲アリト爲ス可キヤ否ヤニ付テハ學者間ニ爭アリ而シテ一部ノ學者ハ此場合ニ付キ全然文書偽造ノ成立ヲ否認シ(例之小疇氏)又他ノ學者ハ公務員ニ非サル者カ公務員トシテノ署名ヲ冒稱シテ本人ノ印章ヲ使用シタルトキニ於テノミ文書偽造ノ成立アリト論スト雖モ或權限即チ或資格ヲ詐リテ文書ヲ作成シ其資格カ其文書ニ表示セラレアル以上ハ文書ニ署名シタル氏名即チ其文書ノ作成名義ハ既ニ作成者一個ノ名義ニ非ラスシテ寧ロ本人ノ作成名義ヲ侵シタルモノト云ハサル可カラス故ニ此ノ如キ場合ニ於テハ寧ロ一般ニ文書偽造ノ行爲アルモノト解スルヲ至當トス(大場氏牧野氏)他人ノ代表又ハ代理ノ資格ヲ詐リテ或文書ヲ作成スル場合ハ其最モ著シキ場合ニシテ人ノ死亡ニ際シ何等ノ遺言アラサルニ拘ハラズ遺言ニ立會ヒタル證人ナルカ如ク詐ハリ虛妄ノ遺言證書ヲ作成シタル如キ場合モ亦其一例ナル可シ(三十四年六月十三日)

第二 變造

變造トハ權限ヲ有セサル者カ他人名義ノ真正ナル文書ノ上ニ變更ヲ加ヘ他ノ不真正ナル文書ヲ作出スルコトヲ云フ變造ハ權限ヲ有セサル者カ他人名義ノ不真正ナル文書ヲ作出スル點ニ於テ偽造ト相同シク其材料ヲ他ノ真正ナル文書ニ採ル點ニ偽造ト相異ル真正ナル文書ナルモ既ニ廢物トナリタルモノヲ材料トスルトキハ變造ニ非ラスシテ偽造ナリ然レトモ廢物ナラサル真正ノ文書ヲ材料トスル以上ハ之ニ依リテ新ナル權利關係ヲ證明スル文書ヲ作出スルト雖モ尙變造ト爲ル

第三 虛偽ノ記載

虛偽ノ記載トハ文書ノ作成者カ文書ノ内容ヲ詐ハリ記載スル行爲ナリ無形偽造又ハ内容ノ偽造ト稱スルモノ是レナリ廣ク文書偽造ト云フトキハ内容ノ偽造モ亦固ヨリ之ヲ包含スト雖モ狭ク文書偽造ト云フトキハ只作成名義ノ偽造即チ所謂有形ノ偽造ノミヲ包含シ内容ノ偽造ハ之ヲ包含セス法律ハ第一五六條第一五七條及ヒ第一六〇條ノ明文ヲ設ケ此三個ノ場合ニ於テノミ内容ノ偽造ヲ罰ス

可シト爲セリ

第四 行使

行使トハ偽造變造又ハ虛偽ノ記載ニ係ル文書ヲ真正ノ文書トシテ使用スルコトヲ云フ

真正ノ文書トシテ使用スルコトヲ要スルカ故ニ眞文書ノ謄本ナリトシテ使用シ又偽文書タル情ヲ知ラシメテ使用シ又自己ノ共犯ニ交付シタルニ過キササル如キ行爲ハ偽文書ノ行使ニ非ス然レトモ眞正ノ文書トシテ使用スルコトヲ以テ十分トナスカ故ニ

- (1) 他人カ其使用ニ因リ眞文書ナリトノ錯誤ニ陥リタルヤ否ヤ
 - (2) 使用ヲ爲サシメタル行爲カ不法ナリヤ否ヤ
 - (3) 文書本來ノ用途ニ使用シタルヤ否ヤ
 - (4) 使用ヲ受ケタル者ノ如何ナル種類ノ人ナルヤ
- 等ノ問題ハ凡テ之ヲ不問ニ付スルコトヲ得唯其使用ニ因リ文章ノ社會交通上ノ證據力ヲ害スル危險ナキ場合ニ於テ偽文書ノ行使ヲ否認セサル可カラサルノ

ミ

使用ノ方法ハ文書ノ性質ニ因リ必スシモ一定セス或種ノ文書ハ一定ノ場所ニ備付クルヲ以テ十分トシ或種ノ文書ハ他人ニ交付又ハ提出スルコトヲ必要トス前ノ文書ニアリテハ一定ノ場所ニ備付ケタルトキヲ以テ行使ノ時期ト爲ス可ク後ノ文書ニアリテハ他人ニ認識セラレ得可キ状態ニ置キタル時ヲ以テ行使ノ時期ト爲ス可キモノナリ

第四節 各個ノ罪及其處分

第一 大權文書偽造變造(第一五四條)

凡テ行使ノ目的ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ罰セス偽造ニ付テハ御璽國璽若シクハ御名ヲ使用シテ文書ヲ偽造シタル行爲ト偽造シタル御璽國璽若クハ御名ヲ使用シテ文書ヲ變造シタル行爲トヲ罰シ變造ニ付テハ御璽國璽ヲ押捺シ又ハ御名ヲ署シタル文書ヲ變造シタル行爲ヲ罰ス此ノ偽造變造ニ付テハ犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ノ適用アリ(第二條五號)

第二 官文書ノ偽造變造

凡テ行使ノ目的ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ罰セス偽造ニ付テハ

(一) 公務所又ハ公務員ノ印章若シクハ署名ヲ使用シテ文書圖畫ヲ偽造シタル行爲

(二) 偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若シクハ署名ヲ使用シテ文書圖畫ヲ偽造シタル行爲

(三) 公務所又ハ公務員ノ印章若シクハ署名ヲ使用セサル文書圖畫ヲ偽造シタル行爲

ヲ罰シ變造ニ付テハ

(一) 公務所又ハ公務員ノ捺印若シクハ署名シタル文書圖畫ノ變造ト

(二) 公務所又ハ公務員ノ捺印若シクハ署名ナキ文書圖畫ノ變造

トヲ罰ス此偽造變造ニ付テハ犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ノ適用アリ(第二條五號)

第三 公務員ノ無形偽造(第一五六條)

公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虛偽ノ文書若シクハ圖畫ヲ作り又ハ文書若シクハ圖畫ヲ變造シタルトキハ印章署名ノ有無ヲ區別シ第一五四條第一五五條ノ例ニ依リテ處斷ス此罪ハ帝國外ニ於テ帝國ノ公務員カ之ヲ犯シタル場合ニ付キ我刑法ノ適用アリ(第四條二號)

第四 公務員ニ依ル無形偽造(第一五七條)

即チ公務員ニ對シ虛偽ノ申立ヲ爲シ權利義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル行爲ナリ同一方法ニ依リ免狀鑑札又ハ證券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル行爲モ亦此罪ヲ構成ス此罪ノ未遂罪ハ之ヲ罰シ又此罪ニ付テハ犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ヲ適用ス(第二條五號)

第五 偽造官文書ノ行使(第一五八條)

偽造變造ニ係リ又ハ虛偽若シクハ不實ノ記載ヲ爲シタル官ノ文書圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書圖畫ヲ偽造變造シ又ハ虛偽若シクハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ト同一ノ刑ニ處ス此罪ノ未遂罪モ亦之ヲ罰シ此罪ニ付テモ亦犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ノ適用アリ(第二條五號)

第六 私文書ノ偽造變造(第一五九條)

凡テ行使ノ目的ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ罰セス偽造ニ付テハ

- (一) 他人ノ印章若シクハ署名ヲ使用シテ文書圖畫ヲ偽造シタル行爲ト
- (二) 偽造シタル他人ノ印章若シクハ署名ヲ使用シテ文書圖畫ヲ偽造シタル行爲ト

(三) 印章若シクハ署名ヲ使用スルコトナク文書圖畫ヲ偽造シタル行爲ト

トヲ罰シ變造ニ付テハ

- (一) 他人ノ印章ヲ押捺シ若シクハ他人ノ署名シタル文書圖畫ヲ變造シタル行爲ト

(二) 然ラサル文書圖畫ヲ變造シタル行爲ト

トヲ罰ス此罪ニ付テハ帝國外ニ於テ帝國臣民ノ犯シタル場合ニ付キ我刑法ノ適用アリ(第三條三號)

單ニ他人ノ印章署名ヲ偽造盜用シタル行爲ニ付テハ第一六七條ノ適用アリ他人ノ印章署名ヲ偽造盜用シテ文書ヲ偽造變造シタル場合ニハ結合犯トシテ本條

一項二項ヲ適用スルニ止マリ別ニ第一六七條ヲ適用スル必要ナシ(四十三年一月二十八日)私文書ノ偽造ハ內國人ノ文書ニ關スルト外國人ノ文書ニ關スルトヲ區別セス(三十一年二月二十二日)文書ノ效用上他人ノ印章又ハ署名ヲ必要トセサル文書圖畫ノ偽造變造ハ本條一項二項ノ罪ヲ構成セスシテ常ニ本條第三項ノ罪ヲ構成ス金員支拂ヲ命令スル傳票ノ如キ是レナリ(四十三年二月十日)署名ハ必スシモ漢字ヲ以テ其氏名ヲ明記スルコトヲ要セス故ニ假名ヲ以テ氏ノミヲ表記スル如キモ亦署名ナリ電報賴信紙ニ發信人トシテ他人ノ氏ヲ片假名ニテ記載シ通信文ヲ記載スルカ如キ行爲ハ本條一項ノ罪ヲ構成シ本條第三項ニ該當セス(四十三年一月三十一日)處分ハ他人ノ印章又ハ署名ヲ偽造盜用シタルト然ラサルトニ依リテ異ル何レノ罪モ帝國外ニ於テ帝國臣民ノ犯シタル場合ニ付キ我刑法ノ適用アリ(第三條三號)然レトモ本條ノ未遂ハ之ヲ罰セス本條ノ未遂モ亦多ク印章偽造罪ヲ構成スルヲ以テナリ

第七 私文書ノ無形偽造(第一六〇條)

即チ醫師公務所ニ提出ス可キ診斷書檢案書又ハ死亡證書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ

タルトキナリ診斷書ハ自ラ診斷シタル患者ノ病狀ニ付キ作成スル文書、檢案書ハ自ラ診斷シタル者ノ屍體ニ就キ作成スル文書、死亡證書ハ自ラ診斷シタル者ノ屍體ニ就キ作成スル文書ナリ、公務所ニ提出ス可キ文書ニ非サレハ本罪ヲ構成セス他人ノ囑託ヲ受ケタルト否トハ之ヲ問ハス醫師自ラ公務所ニ提出スル場合ハ勿論他人ノ囑託ニ依リ他人ノ公務所ニ提出スルコトヲ知リツツ虚偽ノ記載ヲ爲シタル場合モ亦本罪ヲ構成ス本條ハ醫師自ラ自己ノ無形偽造ヲ規定スルモノナルヲ以テ本條ノ適用ヲ受クル場合ハ只醫師自ラ自己ノ名義ヲ以テ虚偽ノ記載ヲ爲シタル場合ニ限ル醫師カ他人ノ名義ヲ以テ此等ノ文書ヲ作成スルトキハ本條ノ適用ヲ受ケスシテ第一五九條ノ適用ヲ受ク本罪ニ付テハ帝國外ニ於テ帝國臣民ノ犯シタル場合ニ付キ我刑法ノ適法アリ(三條三號)然レトモ本罪ノ未遂ハ之ヲ罰セス

第八 偽造私文書ノ行使(第一六一條)

偽造變造ニ係リ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル私ノ文書圖書ヲ行使シタル者ハ其文書圖書ヲ偽造變造シヌハ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者ト同一ノ刑ニ處ス偽造私文書ノ行使ノ私文書ノ偽造ト獨立シタル犯罪ヲ構成スルコト官文書ニ付キ述ヘタ

ルト同一ナリ行使ノ目的ヲ以テ偽造シタル他人ノ印章ヲ使用シ他人ノ文書ヲ偽造シタル者自ラ之ヲ行使シタル場合ニハ第一五九條ト本條トヲ適用シ更ニ手段目的ノ關係ニヨリ刑法第五四條ヲ適用セサル可カラス(反對第一五九條ノミヲ適用ストノ説明治四十二年一月十三日民刑局長回答)

本條ノ未遂罪モ亦官文書ノ行使ニ就キ述ヘタルト同一理由ニ依リ之ヲ罰スルコトト爲シタリ

第十八章 有價證券偽造ノ罪

第一節 總說

第一 舊刑法ハ公債證書地券其他官吏ノ公證シタル文書ヲ官文書トシ爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書若シクハ金額ト交換ス可キ約束手形ヲ私文書トシ別節ニ規定ヲ設ケタレトモ(舊刑二〇四條二〇九條)刑法ハ此部分ヲ文書偽造罪ヨリ摘出し官私ノ別ヲ廢シ之ヲ合シテ一章ト爲シ有價證券偽造ノ罪ト名ツケタリ蓋シ此罪ハ特別ノ性質ヲ有スル流通證券ニ關スルモノニシテ普通ノ文書ト

異ナルモノアリ且ツ主トシテ直接ニ財産上ノ利益ヲ目的トスルモノナルヲ以テ之ヲ他ノ文書偽造罪ト區別スル必要アリト爲シタルモノナリ(理由書一四六)

第二 本章ノ罪ニ付テハ犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ノ適用アリ(第二條六號)亦偽造變造及虛偽ノ記入ニ付未遂罪ヲ罰セサルモ行使交付輸入ニ付テハ其未遂罪ヲ罰ス(第一六三條二項)蓋シ前ノ未遂ハ多ク印章偽造罪ヲ構成ス可キモ後ノ未遂罪ハ印章偽造罪ニ問フ可カラサルヲ以テナリ

第二節 物體

第一 有價證券ノ沿革

有價證券ハ法律發達ノ結果生シ來リタルモノナルヲ以テ羅馬法ニ於テハ之ヲ見サル所ナリキ今日有價證券ト稱スルモノノ内最モ早ク生シタルハ指圖證券(Ordrepapier)ニシテ此證券ハ六世紀ノ頃伊太利ニ於テ行ハレ其後漸次發達ヲ遂ケ終リニ今日ノ爲替ト爲リタルモノナリ次テ所持證券(Tulhaberpapier)モ亦九世紀頃ニ發生シ其後漸次流通ヲ爲スニ至リシモ一般ニ有價證券ト稱スルモノノ盛ニ行

ハルルニ至リシハ十八世紀以後ノ事ニ屬シ之ニ關スル法律規則ノ發達モ亦極メテ近世ノコトニ屬ス尤モ指圖證券中爲替ノミニ付テハ早クヨリ規則ノ發達シタルモノアリタルモ所持證券ニ就テハ其發達頗ル遅ク法典ニ之カ規定ヲ設ケタルハ千八百六十三年ノSaxoa民法ヲ以テ嚆矢トス

第二 有價證券ノ意義

有價證券及有價證券ニ關スル法律規則ハ後世ニ至リ發達ヲ遂ケタルモノナルヲ以テ之ニ對スル學問的研究モ亦極メテ近世ノ事ニ屬シ其意義ノ如キモ亦未ダ全ク一定セルモノト爲ス可カラス先ツ有價證券ノ意義ハ法律上之ヲ定メ得可キモノナルヤ否ヤニ付キ爭アリ一部ノ學者ハ有價證券ハ經濟學上ノ言語ニシテ法律學ニ於テ其意義ヲ定メ得可キモノニアラスト主張ス(例之Hahn, Keysner)次ニ有價證券ハ私法上ノ制度ナルヤ否ヤニ付キ爭アリ一部ノ學者ハ爲換ハ公法之ヲ定ム可ク私法ノ規則ヲ以テ之ヲ律スルコトヲ得スト主張ス(例之Hartmann)然レトモ今日ノ通説ヲ以テスレハ有價證券カ法律上ノ制度ニシテ又私法上ノ制度ナルコト正ニ疑ナキ所ナルカ如シ然カモ如何ニシテ此意義ヲ定メ得可キカノ問題換言

スレハ何カ有價證券ナルヤノ問題ハ未タ全ク一定セルモノト爲スコラス極メテ廣ク云ヘハ材料ニ基カサル價格ヲ有スルモノ換言スレハ材料以外ノ價格ヲ有スルモノハ凡テ有價證券ナリト稱スルコトヲ得然レトモ此ノ如キ定義ヲ以テ満足セハ大家ノ手ニ成レル書畫ノ掛物モ亦有價證券ト云ハサル可カラサルニ至ル茲ニ於テカ學者多ク更ニ一步ヲ進メ或ハ財産的内容ヲ有スル證券カ有價證券ナリト説キ(Thib.)或ハ紙ニ權利ノ附著シタルモノカ有價證券ナリト説ク(Savigny, ahl. II. §. 90)然レトモ財産的内容ヲ有スル證券カ凡テ有價證券ナラハ貸借證書債權證書ノ如キモ亦有價證券ナリト云ハサル可カラス又紙ニ權利ノ附著シタルモノト云フモ其附著ノ方法必スシモ一樣ナラス此點ヲ明カニスルニ非サレハ有價證券ノ意義ト範圍トヲ確定スルコトヲ得ス故ニ余輩ハ財産權ノ移轉行使カ證書ニ繫ルモノヲ以テ有價證券ナリトス即チ有價證券トハ一ノ證券ニシテ財産權ノ移轉行使カ之ニ依ラサル可カラサルモノヲ云フ之ヲ分析説明スレハ

(一) 有價證券ハ證券ナリ

證券トハ或權利狀態ヲ證明スル書類ヲ云フ證券ニ非サレハ有價證券ニ非ス故

ニ或權利狀態ヲ證明セサルモノ例ヘハ大家ノ手ニ爲リタル掛物ノ如キハ有價證券ニ非ス

(二) 有價證券ハ財産權ノ證券ナリ

即チ有價證券ハ財産權の内容ヲ有シ之ニ依リテ或財産權上ノ請求ヲ爲シ得可キ證券ナラサル可カラス有價證券ノ價值ヲ有スル所以ハ其物自體ニ價值アルニ非ラスシテ其物ヨリ生スル請求權ニ價值アルモノナリ故ニ紙幣ハ有價證券ニ非ス學者或ハ紙幣ヲ以テ有價證券ト爲ス(Lehmann, Hahn, Gareis.ハ補助貨幣モ有價證券ナリト云フ)然レトモ紙幣ハ紙ヨリ權利ヲ生スルニアラス紙其物ヲ以テ辨濟ノ具ト爲シ紙其物ニ價值アルモノナリ換言スレハ紙幣ハ權利ニアラスシテ一個ノ價值アルモノナリ故ニ之ヲ有價證券ト爲スコラス印紙郵便切手葉書ノ類モ亦紙幣ト同一ナリ故ニ此等ノ文書モ亦之ヲ有價證券ト爲スコトヲ得ス銀行券ハ之ニ對シ一定ノ金額ヲ支拂フ可キ約束ヲ包含スル債權證券ナリ故ニ其性質ヨリ云ヘハ之ヲ有價證券中ニ包含セシメサル可カラス然レトモ我刑法ニ於テハ之ヲ有價證券ト區別セリ銀行券ハ金錢ニシテ同時ニ有價證券ナリ然レトモ刑法上銀行

券ノ偽造ハ常ニ第一四八條ニ入ル可シ

(三) 有價證券ハ財産權ノ移轉行使ニ關スル證券ナリ

即チ有價證券ハ此證券ナクシテハ權利ノ移轉行使ヲ爲シ能ハサルモノナルコトヲ必要トス故ニ

い 單純ノ文書ハ有價證券ニ非ス 單純ノ文書ハ只證據ノ用ニ供セラルルニ止マリ權利ノ移轉行使ニ必要ナルモノニハ非ス單純ノ文書モ亦或價值ヲ有スルモノナリト雖モ其價值ハ唯之ヲ以テ直接間接ニ法律上重要ナル意思ノ表示ヲ證明シ得ルコトヨリ生スルニ止マリ敢テ其文書其物ヨリ生スル請求權ノ價值ニハアラス換言スレハ單純ノ文書ハ單ニ手續法上ノ價值ヲ有スルニ止マリ毫モ實體法上ノ價值ヲ有スルモノニアラス事實證明ニ關スル文書ハ勿論權利義務ニ關スル文書モ亦然リ故ニ單純ノ文書ハ凡テ有價證券ニ非サルナリ然レトモ文書ハ時ニ手續法上ノ價值ヲ有スルト共ニ又實體法上ノ價值ヲ有スルコトナキニアラス而シテ其實體法上ノ價值ナルモノニ又二種アリ或文書ハ權利存在ノ爲メニ必要ニシテ(例之遺言書)或文書ハ權利ノ移轉行使ノ爲メニ必要ナリ(例之證據ノ爲メニ

スル株券保險證券前ノモノハ有價證券ニアラサルモ後ノモノハ文書タルト同時ニ又有價證券ナリ

ろ 發權證券又ハ任意證券 (dispositive Urkunde) ハ有價證券ニ非ラス

發權證券トハ權利發生ノ爲メ作成スル證書ヲ云フ請負契約ヲ爲スニ當リ書面ヲ以テ契約ヲ締結スヘキコトヲ約スル場合ノ如シ此場合ノ證書ハ單ニ證據ノ用ニノミ供セラルルモノニアラスシテ實體法上ノ價值ヲ有シ此證書ヲ作成スルニ非サレハ權利ヲ發スルコトナキモノナリ然レトモ一度權利ヲ發生シタル以上ハ此權利ヲ移轉行使スルニ付テハ此證書ヲ必要トセス故ニ此證書モ亦之ヲ有價證券ト云フコトヲ得ス然レトモ權利發生ノ爲メニ必要ナルト同時ニ權利ノ移轉行使ニ對シテモ亦必要ナル證書アリ記名ノ株券又ハ手形ノ如キ是レナリ此ノ如キ證書ハ發權證書タルト同時ニ又有價證券タルモノナリ蓋シ完全ナル有價證券ハ常ニ此性質ヲ有スルモノナリ

は 履行證券 (Korporationspapier) ハ有價證券ニアラス

履行證券トハ債務者カ債權者ニ對シ債務ヲ履行スルニ當リ其債權者ノ何人ナ

ルカラ調査スル不便ヲ避クル爲メ作製スル證券ナリ例ヘハ下足札銀行ノ與フル番號札等ノ如シ此等ノ證券ハ單ニ債務者利益ノ爲メ又ハ債務履行ノ爲メ之ヲ作成スルニ過キササルモノニシテ敢テ債權ノ發生移轉又ハ行使ニ付キ之ヲ必要トスルモノニ非ス故ニ此等ノ證券ハ有價證券ニ非サルナリ然レトモ履行證券ト雖モ時ニ債務履行ノ爲メ作成セララルト同時ニ債權ノ行使モ亦此證券ニ依ルニ非サレハ全然不可能ナルコトナキニアラス例ヘハ乗車券木戸札湯札聽講券等ノ如シ(竹田博士法學新報二〇卷五號)鐵道乗車券及ヒ手荷物引換符票此等ノ證券ハ單純ノ文書ニ非ス何トナレハ債權者ハ此證券ニ依ルニアラサレハ債務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得ス又契約モ此證券ヲ賣渡スニ依リ成立ヲ遂クルモノナレハナリ故ニ一般ノ理論トシテハ此ノ如キ證券ハ履行證券タルト同時ニ又有價證券ナリト云フコトヲ得然レトモ此等ノ證券ハ單ニ權利行使ノ爲メ之ヲ必要トスルニ止マリ敢テ權利發生又ハ其移轉ノ爲メ之ヲ必要トスルモノニアラス此點ニ於テ完全ナル有價證券ト性質ヲ異ニス

に 財産權ノ移轉ニ關セサル證券ハ有價證券ニ非ス

權利ノ移轉行使ニ關スルモ財産權ノ移轉行使ニ關セサルモノハ有價證券ト云フコトヲ得ス例ヘハ運動會ノ入場券諸官署ノ門鑑等ノ如シ是レ有價證券ノ性質ヨリ生スル一條件ナリ

有價證券ノ意義以上述ヘタル如シ故ニ法律ニ例示シタル公債證券官府ノ證券會社ノ株券等ハ凡テ有價證券ニ屬ス公債證券中ニハ各種ノ國債證券及ヒ地方債證券等ヲ包含シ官府ノ證券中ニハ大藏證券郵便爲替證券等ヲ包含ス法律ニ例示シタル外會社債券各種ノ手形商法四三四條以下(貨物引換證)商法三三三條以下(預證券)質入證券(商法三五八條以下)船荷證券(商法六二〇條以下)商品切手等モ亦元ヨリ有價證券中ニ包含セラル

第三 有價證券ノ種類

我刑法ニ於テ有價證券ノ種類ヲ認メス然レトモ一般ノ理論トシテハ有價證券ニ付左ノ種類ヲ認ムルコトヲ得

(一) 完全有價證券(絕對的有價證券)不完全有價證券(相對的有價證券)是レ證券ノ效力ニヨル區別ナリ

い 完全有價證券トハ權利ノ發生移轉行使消滅ノ四又ハ權利ノ發生移轉行使ノ三カ其證券ニ依ラサル可カラサルモノヲ云フ第一六二條ニ例示シタル公債證書官府ノ證券中大藏省證券並ニ各種ノ手形商法四三四條以下會社ノ債券(商法二〇五條)ノ如キ此種類ニ屬ス銀行券モ亦性質上ヨリ云ヘハ此種ノ有價證券ニ屬ス(杉本學士法學志林一二卷五號手形ノ質入證書ノ效力ニ付テ)

ろ 不完全有價證券トハ右ノ四又ハ三ノ内或者カ缺ケタル證券ナリ(1)或ハ權利ノ移轉ニノミ必要ナルモノアリ(2)或ハ權利ノ行使ニノミ必要ナルモノアリ保險證券(商法四〇三條四二二條四二五條四三〇條)貯金通帳ノ如キ是レナリ(3)或ハ權利ノ發生及移轉ニノミ必要ナルモノアリ會社ノ記名株券ノ如キ是レナリ(4)或ハ權利ノ發生及行使ニノミ必要ナルモノアリ讓渡ヲ禁シタル手形記名ノ船荷證券(商法六二〇條以下)貨物引換證(商法三三三條以下)履行證券等ノ如キ是レナリ(5)或ハ權利ノ行使及移轉ニノミ必要ナルモノアリ預證券質入證券(商法三五八條以下)ノ如キ是レナリ

(二) 會社證券、物權證券、債權證券

是レ證券ノ内容ニ依ル區別ナリ

5 會社證券(Korporationspapier)トハ或團體ニ屬スル財産ノ一部ヲ有スル權利カ證券ニ附著シタルモノヲ云フ換言スレハ社員權ノ證券ナリ著シキ例ハ第一六二條ニ例示シタル會社ノ株券ナリ

ろ 物權證券トハ物權カ證券ニ附著シタルモノヲ云フ預證券質入證券ノ如キ是レナリ此ノ外眞ノ物權證券ニ非サルモ物權移轉ノ手段トシテ使用セララルル證券アリ船荷證券貨物引換證ノ如キ此部類ニ屬ス

は 債權證券トハ債權カ證券ニ附著シタルモノヲ云フ此證券ハ其形式ヨリ更ニ三種ノ區別ヲ爲スコトヲ得或ハ給付委任ノ形式ヲ有スルコトアリ通常ノ爲替手形小切手ノ如キ是レナリ或ハ給付義務ヲ記載スルコトアリ約束手形商品切手ノ如キ是レナリ或ハ受取ノ形式ヲ爲セルコトアリ貯金通帳ノ如キ是レナリ

(三) 所持證券、指圖證券、指名證券

是レ證券ト權利者トノ關係ニ依ル區別ナリ

5 所持證券(Tulhaberpapier)トハ何人ヲ問ハス證券ノ所持者カ其證券ニ依ル權利

ヲ有スルモノナリ此證券ハ又之ヲ無記名證券ト云フ此證券ニアリテハ請求者カ所持ノ事實ヲ證明スルヲ以テ十分トシ敢テ其權源ヲ證明スルコトヲ必要トセス利札鐵道切符ノ如キ是レナリ銀行券モ亦其性質ヨリ云ヘハ此證券ニ屬ス此證券ニハ全然名宛人ヲ記載セサルモノト權利者ノ名ヲ記載スルモ所持人ニテ之ヲ支拂フ可シト記載スルモノアリ質入證券ハ通常最後ノ形式ニ依ル

る 指圖證券(Ordrepapier)トハ證券面ニ指名セラレタル人又ハ其人ノ指圖人カ其證券ニ附著スル權利ヲ有スルモノナリ此證券ニアリテハ請求者ハ所持ノ事實ノ外其權源ヲモ之ヲ證明セサル可カラス然レトモ指圖ハ裏書ノ方法ニ依ルヲ通常トスルヲ以テ權源ノ證明ハ裏書ノ自己ノ爲メニ爲サレタル事實ヲ證明スルヲ以テ十分トス通常ノ手形船荷證券貨物引換證預證券質入證券等は是レナリ

ハ 指名證券トハ證券面ニ指名セラレタル人カ其證券ニ附著スル權利ヲ有スルモノナリ故ニ此證券ニアリテハ請求者ハ所持ノ事實ノ外尙ホ其權源ヲモ證明セサル可カラス而シテ其證明ニ付テハ指圖證券ノ如ク法律上特定シタル證明ノ方法存スルコトナシ保險證券指圖ヲ禁シタル手形裏書ノ條款ナキ船荷證券等は

レナリ第一六二條ニ例示シタル官府ノ證券中郵便爲替證書ノ如キモ亦此種類ニ屬ス此種類ニ屬スル證券ハ又之ヲ指圖證券ト爲スヲ得ルコト多シ

(四) 公的有價證券、私的有價證券

是レ發行者ノ如何ニ依ル區別ナリ

公的有價證券トハ國家其他ノ公共團體ノ發行スル有價證券ニシテ私的有價證券トハ私人ノ發行スル有價證券ナリ公債證書(各種ノ國債證書地方債證書等)官府ノ證券(大藏省證券郵便爲替證書等)ハ公的有價證券ニ屬シ會社ノ株券各種ノ手形其他多クノ有價證券ハ私的有價證券ニ屬ス舊刑法ハ此兩種ニ關スル場合ヲ各別ニ規定シタレトモ(舊刑二〇四條二〇九條)刑法ハ之ヲ一括シテ規定シタリ

(五) 法律上ノ有價證券事實上ノ有價證券

是レ證券ノ形式ニ依ル區別ナリ法律上ノ有價證券トハ證券ノ形式カ法律上一定セラレタルモノニシテ事實上ノ有價證券トハ證券ノ形式カ法律上一定セラレサルモノナリ各種ノ手形貨物引換證船荷證券預證券質入證券等ノ如キハ法律上ノ有價證券ニ屬シ各種ノ切符切手類ノ如キハ事實上ノ有價證券ニ屬ス

第三節 行爲

有價證券偽造罪ノ行爲ハ (1) 偽造 (2) 變造 (3) 虛偽ノ記入 (4) 行使 (5) 交付 (6) 及ヒ輸入ナリ(第一六二條第一六三條)偽造變造虛偽ノ記入交付及ヒ輸入ニハ凡テ行使ノ目的ヲ必要トス虛偽ノ記入中ニハ虛偽ノ裏書引受又ハ保證等ヲ包含ス舊刑法ハ唯手形ノ裏書ニ關スル明文ヲ設クルニ過キサリシカ(舊刑二〇九條二項)刑法ハ此規定ヲ以テ狭キニ失スルモノト爲シ廣ク虛偽ノ記入ト規定シ以テ時急ニ應セシムルコトト爲セリ(理由書一四六頁)又刑法ハ新ニ偽造有價證券ノ輸入ヲ罰スルコトト爲シタリ是レ有價證券ハ信用經濟ノ發達ト共ニ殆ント貨幣ノ代用ヲ爲スニ至リ無記名ノ證券ノ如キ流通ノ點ニ於テ毫モ通貨ト相異ル所ナキニ至リタルヲ以テナリ(理由書一四七頁)

他人ノ印章ヲ偽造又ハ盜用シテ有價證券ヲ偽造シタルトキハ手段結果ノ關係ニ依リ印章ノ偽造又ハ盜用ト有價證券偽造トノ間ニ刑法五四條ノ適用アルモノナリ印章ノ偽造又ハ盜用ハ當然有價證券偽造罪中ニ包含セラルルモノト誤解ス

可カラス(同說泉二氏七〇一頁小崎氏六〇頁)反對四二年二月五日、四二年六月二四日、四三年二月二二日判例)

第十九章 印章偽造ノ罪

第一 印章ノ偽造又ハ使用ト文書偽造ト相結合スルヲ通常トス故ニ刑法ハ印章ノ偽造又ハ使用カ文書偽造ト相結合スル場合ハ凡テ之ヲ文書偽造罪中ニ規定シタリ然レトモ印章ノ偽造又ハ使用ハ文書偽造ト離シ之レト獨立シテ存在スルコトナキニ非ラス殊ニ有價證券偽造ニ付テハ印章偽造又ハ使用ハ常ニ有價證券ノ偽造ト相分離スルモノト爲サレタリ刑法カ文書偽造罪ヲ離レテ印章偽造ヲ規定シタル所以ハ此點ニ在リ故ニ印章偽造罪ノ規定ハ印章ヲ偽造シ眞印ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造印ヲ使用シテ有價證券ヲ偽造シタル場合及ヒ印章ヲ偽造シ眞印ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造印ヲ使用スルモ文書ヲ偽造セサル場合ノミニ關スルモノト知ル可シ

第二 官印ニ付テハ犯人犯地ノ内外ヲ問ハス我刑法ヲ適用シ第二條七號私印

ニ付テハ帝國外ニ於テ帝國臣民ノ犯シタル場合ニ付キ我刑法ノ適用アリ(第三條四號)

日本刑法終

大正七年一月七日印刷
大正七年一月十日發行

日本刑法合本奥附

定價金 四圓

上製金五拾錢増



著 者 富 田 山 壽
發 行 者 三 浦 靜 丸
發 行 者 葉 多 野 太 兵 衛
印 刷 者 高 木 西 三
印 刷 所 秀 英 舍 第 一 工 場

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十三番地

東京市神田區今川小路二丁目四番地振替東京三〇六〇番
京都市上京區下立賣通知惠光院西入振替大阪三〇八番

電話上 四〇七番

東京市神田區今川小路二丁目四番地

清水書局
電話本局九六、九六五番 振替東京三〇六〇番

發行所

366
62

終

